

図柄入りナンバープレート等に関する検討会

「中間取りまとめ」(R7.6)で検討課題とされた施策の今後の方向性(概要)

図柄ナンバープレート(地方版)例
(熊本ナンバー・くまモン/飛鳥ナンバー・朱雀)



① 図柄ナンバープレート(ふるさと版)

背景・目的

- 「走る広報大使」として地域の魅力を発信する「地方版」は、78地域で導入され、広く定着。寄付金により地域振興に寄与
- 一方、当該地域の車両のみを対象に交付されるもので、全国の利用者が自由に選択できない
→ **応援したい地域の地方版図柄を自由に選択できる「ふるさと版」を創設し、地域振興を更に促進**

基本方針

- シンプルかつ持続可能な制度設計
- 小規模・試行的に制度導入**し、運用上の課題・効果を検証の上、本格導入を目指す
- 既存の制度・システムを可能な限り活用し、**早期に制度開始**

対応の方向性

- 交付対象地域 地域を限定せず、**全国で交付**
- 交付対象図柄 **2-3種類程度から開始**し、段階的に全種類まで拡大を目指す
図柄は**交付実績や国民アンケートにより今後選定**
- 費用負担 現行と同様、ユーザーが交付手数料により負担。寄付先は交付対象図柄の地域。寄付の最低額は今後決定
- 対象標板 **自家用の中板**(乗用車など)。事業用は新たな制度的受け皿を今後検討
- 交付代行者 交付を受けるユーザーの地域の代行者が交付
- 申込～交付の期間 製造者の負担を考慮し、現行の期間(10営業日)よりも延長。合理的な期間を今後検討
- 開始時期 遅くとも**令和11年度までの試行導入**を目指す

② 人気がある希望番号を取得しやすくする方策

背景・目的

- ナンバープレートの好きな番号を選べる「希望ナンバー制」において、人気の番号は**無料の抽選制**。最大で30倍の抽選倍率も
- 人気の著しく高い番号の抽選倍率を下げることで、番号を選択したいというユーザーのニーズに応えることが必要

基本方針

- ユーザーへの情報提供の充実など、**可能な取組から速やかに実施**
- 制度の見直しや大規模なシステム改修等を必要とする方策は**長期的な課題**として引き続き検討し、実験的に経済的手法を試行導入

対応の方向性

<p style="text-align: center;">短期・中期的な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 抽選倍率等のユーザーへの情報提供の充実 抽選対象番号の見直し (倍率1倍以下の番号の除外等) <p style="text-align: center;">早急に実施 (システム改修を要するものは令和9年度を目指す)</p> <ul style="list-style-type: none"> 著しく高い倍率となっている番号について、取得対価を求める仕組みの試行的な導入を検討 	<p style="text-align: center;">長期的な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 当選個数の増加の前提となる、番号の再利用を含む抜本的な番号払底対策を検討
<p>令和8年度中に試行に向けた制度設計</p>	

- 収受方法 寄付金による
- 収受時期 抽選参加料は無料とし、当選時に支払
- 対象番号 著しく高い倍率となっている番号と地域に限定
- 金額 定額とし、倍率低減効果を踏まえ決定